

# 広報 みゆきがはら

平成28年度  
後期号

## ～ 連合自治会設立 40周年記念 特集号 ～

### 連合自治会設立40周年にあたって

御幸ヶ原地区連合自治会長 藤原 由房



平成28年11月5日、御幸が原小学校に於いて、設立40周年記念式典を開催しましたところ、多くの方のご参加をいただきました。

また、当日は公私共に大変ご多忙中でした。栃木県知事福田富一様、宇都宮市長佐藤栄一様をはじめ、舟本 肇宇都宮市議会議員、更に、多くのご来賓のご臨席を賜りまして、誠に有難うございました。

式典では、永い間地域発展のため、各分野でご苦勞いただきました手塚 毅前連合会長をはじめ、多くの方が表彰を受けられました。受賞者の皆様方におかれましては、誠におめでとうございました。

さて、当連合自治会は、昭和52年に、御幸ヶ原町2自治会と上野町2自治会によって、宇都宮市としては35番目に設立されました。当時は1,195世帯、3,991人の規模でした。

また、地域の状況としては、御幸が原小学校の開校を機に、盆踊り大会、体育祭、敬老会が第1回目の開催として実施され、現在も継続されています。

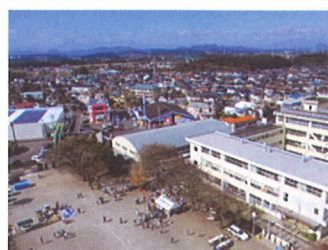
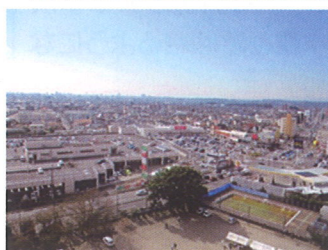
その後、宇都宮環状道路の開通、清原工業団地の開発、更に、スーパーマーケットの開店などで、今では市内でも有数の住宅地となり、4,972世帯、13,758人の人口となりました。

現在、各地では地域の連帯感の希薄化が、大きな問題となっておりますが、当地域では各事業を通して親睦融和が図られ、誠に有り難く感謝しております。

しかし、全国的に少子超高齢化が急速に進展し、当地域でも例外ではありません。例えば、今年の敬老会対象者は1,000人を超え、逆に御幸が原小学校の生徒は一時1,000人超でありましたが、新年度は500人台前半が予想されています。

そのように、社会環境が激変しても、先人が築いた文化を50年・60年と発展させていくためには、様々なことで時代に即応した対応と、柔軟な発想が是非とも必要であると認識しております。

そして5大事業等を通して、なお一層地域内の親睦融和を図るとともに、関係機関のご指導ご協力をいただきながら、安全・安心に快適な生活が送れるような環境づくりを目指し、次世代に引き継いで参りたいと思います。会員の皆様方には今後とも、ご支援ご協力の程宜しくお願いを致します。



御幸が原小学校校庭とその周辺 (撮影：平成28年11月)

## 設立40周年 お祝いのことば

### 宇都宮市議会議員 舟本 肇



御幸ヶ原地区連合自治会設立40周年、誠におめでとうございます。  
私は、連合自治会設立準備会から関わりをもたせていただき、先人の方々が、地域の発展のため、大変な努力をされていたことを目の当たりにしてきました。その尽力と協力により、今日を迎えております。先人の方々に感謝するとともに次世代の方々に、安全で安心して暮らせるまち、更に発展し続ける住みよいまちとして、バトンを渡せるよう努力するのが、我々世代の務めと自覚しております。今後とも皆様とともに、地域発展のため全力で取り組んでまいります。

### 連合自治会顧問 手塚 毅



御幸ヶ原地区連合自治会設立40周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。思い起こせば小学校開校時PTAの役員選考で苦労したことが目に浮かびます。また、地域が発展するうえで、忘れてはならないのが御幸ヶ原町公民館の存在です。住民同士の連帯感を生み出す大きな役割を果たしてくれました。誠にありがたいことと先人（開拓組合寄贈）にお礼申し上げます。

5年前、地域ビジョン『30年後の御幸ヶ原を見据えて～希望～』を採択しました。コミュニティセンター玄関正面に掲げてありますのでご一読ください。

これからも、地域発展のため、時代を超え立場を超えておれずに進んでいきましょう。

### 御幸ヶ原小学校長 大瀧 伸一



この度は、連合自治会設立40周年、誠におめでとうございます。本校職員を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

御幸ヶ原地区が、8自治会の結束の下、めざましい発展を遂げられ、そうした地域の強い絆に支えられて、同じく40周年を迎えた本校の今があることを強く感じております。

また、毎年の盆踊り大会と地域まつりは、児童が将来この地を離れることがあっても、子ども時代の原風景として、生涯にわたり心の中で輝き続けることと思います。

人間味溢れる御幸ヶ原地区の、今後の益々のご発展を、心からお祈り申し上げます。

## 御幸ヶ原と上野町の由来

### ■御幸ヶ原の起源

奈坪川に沿って三千年以上前のものと思われる縄文土器や石器・石の鎌などが出土していることから、御幸ヶ原に古代人が住んでいたことが想像できる。



御幸ヶ原から出土した石器

### ■御幸ヶ原の由来

明治25年10月に、明治天皇が御行幸し、宇都宮の平出原で総勢3万人による大日本帝国初の大軍事演習となる、第1回陸軍特別大演習が行われ、これ以降、御行幸の地の平出原は御幸ヶ原と呼ばれるようになる。その後、御幸ヶ原の地名をルーツに御幸町・御幸本町の地名が名付けられた。




### ■上野町の由来

昭和42年4月に、宅地化が進み平出町の一部が分離してできた町。地名の由来は、平出町から見て上町（うわのまち）、上の方の町にあたるからという説もあるが、詳しい由来は不詳。

## 御幸ヶ原地区連合自治会の発足

昭和52年3月13日、御幸ヶ原町公民館において、御幸ヶ原町南自治会・御幸ヶ原町北自治会・上野町自治会・上野町南自治会により、連合自治会結成総会が開催され、宇都宮市内では35番目の連合自治会として正式に発足しました。

## 設立から30年までのあゆみ(昭和52年～平成18年)

昭和	主な出来事	
52年	第1回盆踊り大会、敬老会、体育祭開催 以降毎年実施	 <p>連合自治会結成当時の役員</p>
10月	御幸ヶ原小学校開校祝賀会開催	
53年	1月 第1回御幸ヶ原地区成人式を開催	 <p>昭和52年12月に完成した体育館</p>
10月	第1回市長を囲む会を開催 以降毎年開催	
10月	御幸ヶ原小学校体育館新築落成	
54年	4月 御幸ヶ原保育園完成	
	地域内道路の整備と下水道化促進と早期着工を要望(毎年継続要望)	
55年	5月 御幸ヶ原町公民館新築落成	
10月	市東公民館御幸ヶ原分館新築落成 御幸ヶ原音頭発表会開催	
56年	4月 鬼怒中学校開校	
58年	4月 連合自治会長 室井渡氏宇都宮市議会議員に当選	
60年	7月 御幸ヶ原地区少年非行防止対策協議会結成	
	奈坪川清掃活動(年2回実施)平成15年3月迄実施	
62年	北自治会を、北自治会と中央自治会に分割	
63年	南自治会を、南自治会と元町自治会に分割 計6自治会体制 宇都宮環状道路部分開通	
平成	主な出来事	
2年	6月 「住みよい環境のまちづくり」の為に住民意識調査実施	
3年	1月 御幸ヶ原地区コミュニティ協議会広報紙「みゆきがはら」創刊(H11年5月1日100号で終了)	
	2月 「住みよい環境のまちづくり」の為に住民意識調査結果を診断書として配布	
5年	5月 防犯交通対策協議会の設立	
6年	3月 御幸ヶ原小学校西側の市道2689号線開通	
8年	4月 宇都宮市政100周年 宇都宮自治会連合会結成30年 御幸ヶ原地区連合自治会設立20周年 御幸ヶ原小学校開校20周年 「健康スポーツの集い」開催	
14年	4月 元町自治会を、元町・新町・栄町自治会に分割し、計8自治会体制 リサイクル推進委員制度開始	
15年	3月 奈坪川河川愛護会解散となる	
	4月 市東公民館御幸ヶ原分館から御幸ヶ原地域コミュニティセンターに改名 御幸ヶ原小学校敷地内全て禁煙	
	6月 まちづくり協議会を立ち上げ	
	11月 第1回地域まつり開催 暴力団組事務所の完全撤去要望書提出	
16年	第1回連合自治会研修会実施。以降毎年実施 「健康スポーツの集い」が、「地域まつり」に一本化	 <p>旧御幸ヶ原分館</p>
17年	公民館敷地内に倉庫を建設 まちづくり協議会を組織化し機能を確立 広報「みゆきがはら」発刊	

# 設立30年から40年までのあゆみ (平成19年～平成28年)

平成	連合自治会 主な出来事	写真コーナー
19年	2月 御幸ヶ原まちづくりセンター (仮) 建設推進委員会設立 4月 ボランティア活動の禁止事項を会則へ まちづくりセンター募金開始 (3ヶ年計画) 4月 舟本肇氏宇都宮市議会議員に当選 12月 災害時要援護者登録制度開始	 <p>みはら塾城址公園見学</p>
20年	3月 災害時要援護者制度 市と協定書締結 7月 住宅用火災報知器の共同購入 防犯無線 募金開始 (一口5,000円)	  <p>防犯無線設置 (小学校屋上) 防犯無線設置 (オータニ看板上)</p>
21年	5月 まちづくりセンター建設募金状況 1,398,746円 防犯無線 募金集計 3,070,000円 8月 まちづくり懇談会 公民館で開催 ①御幸ヶ原まちづくりセンター建設について ②防犯無線の設置について 11月 防災訓練実施。東消防署・第7分団と共催 (以降毎年同時期に実施) 12月 防犯無線 御幸ヶ原小屋上1基目設置、放送開始	 <p>平成22年御幸ヶ原地区連合婦人会</p>
22年	歩道段差改修工事 (御幸ヶ原地区がモデル地区) 6月 防犯無線 スーパーオータニ2基目設置、本放送開始 6月 まちづくりセンター 建設断念 募金は、公民館修繕費等に充てる旨周知 10月 コミュニティセンター建設委員会立ち上げ	 <p>板戸踏切拡幅</p>
23年	3月 東日本大震災 (御幸ヶ原小へ避難者60名) 板戸踏切拡幅工事完了 4月 一時避難場所設定 (各自治会) 5月 まちづくり協議会は連合自治会に統合 6月 防犯無線 無停電電源装置2台設置 9月 防犯無線用 発電機2台購入	 <p>災害時一時集合場所 ここは、地震発生時避難先としたときに避難の仕方が異なります。ご確認ください 連合自治会</p>
24年	2月 地域ビジョン発表 「30年後の御幸ヶ原を見据えて」 3月 コミュニティセンター落成 3月 防犯無線 オータニから第5児童公園に移設 11月 第10回地域まつり記念品 (シャーペン) 配付	 <p>御幸ヶ原コミュニティセンター オープニングセレモニー</p> 
25年	3月 御幸ヶ原町19-24 信号機設置 4月 コミュニティセンターMCA無線配線 (災害時対応用)	 <p>防犯無線移設 (御幸ヶ原5号児童公園)</p>
26年	3月 まちづくり懇談会 ①奈坪川改修に伴う河岸の活用 ②松下電子跡地にJR新駅設置請願 8月 社会福祉協議会 おしゃべりサロン スタート 8月 上野町6084番地信号機設置	 <p>おしゃべりサロン風景</p>